

クロージアップ

第3回

〜今を生きる 人こそが宝〜

丘里村 村長 岡

〜自然の中で自然に過ごす 緩やかに遊び楽しく暮らす〜

悟(おか さとる)さん

丘里村の誕生

ちよどここの頃、山々には紅葉がともきれいな見頃を迎えている。和寒町宇東丘にある丘里村にはそんな紅葉に溶け込むように自然と一体化した露天風呂、炭焼き工房、手づくりログハウスなどの施設が立ち並んでいる。この村の村長を務めているのが、岡悟(おか さとる)さんで

ある。丘里村は岡さんの友人らが集まり、05年頃から炭焼き工房や東屋(炭焼き炉付き)などを、廃材で製作することからはじまった。

丘里村の仲間たち

そんな仲間たちは、それぞれ、仕事の合間には集まり、この村を作り上げてきた。その風景はまるで、テレビ番組のDASH村を思わせる

自然は宝物

田舎暮らしの光景が広がり、緩やかに、そして最高の贅沢を楽しんでいるような人生の余裕すら感じさせてくれる。

入口には「丘里村 炭焼き工房」の看板が立っている。その奥に炭焼き工房、手づくりのログハウス、炉付きの東屋、そして露天風呂が立ち並び、これらの施設には水力発電用の水車から電気が供給されていた。ログハウスは、薪ストーブ。手づくりであるのはもちろんのこと、自然環境と調和した暮らしが存在している。

丘里村にあるもの

この日、露天風呂を入りに町内の若者が訪れていた。よく来ているという。薪割りや雑木集めなども手伝っている。ログハウスでは、岡さんの仲間たちと若者が普通の家族のように、会話を楽しんでいた。岡さんに「将来展望や夢はありますか」と質問した。あっさり「特にない」と・・・ 丘里村そのものに、そういったことは必要のないことかもしれない。自然の中で、自然に集まり、楽しい時間を過ごすことができる。そんな丘里村にあるものを感じることができれば、きっと貴重な財産となるはずである。



そして今年、岡さん自身がわっさむカメラ工房運営委員会の副委員長も務めているカメラ学校が、丘里村で開催することになった。このカメラ学校は毎年7月下旬から約2週間程度でカメラを手づくりで製作するもの。今年も九州大分や東京からも参加者が訪れ、滞在期間中、ログハウスに泊まり込みで自炊しながら

カヌーを製作した。日が昇ると作業に没頭、日が暮れば寝る。時には焼肉パーティーや池で釣り上げたニジマスのチャンチャン焼きなども楽しんだ。そんな田舎ならではのすがすがしい心豊かにするとともに、自然の素晴らしさや大切さを教えてくれている。



岡 悟さん[丘里村村長] 57歳  
和寒町字西町 TEL 0165-32-3361  
出身：和寒町宇東丘  
経歴：1970年 北海道自動車短期大学卒業。  
同年 旭川日産自動車勤務。  
1978年 (株)浜田組。現在 浜田組専務。  
趣味：物づくり

